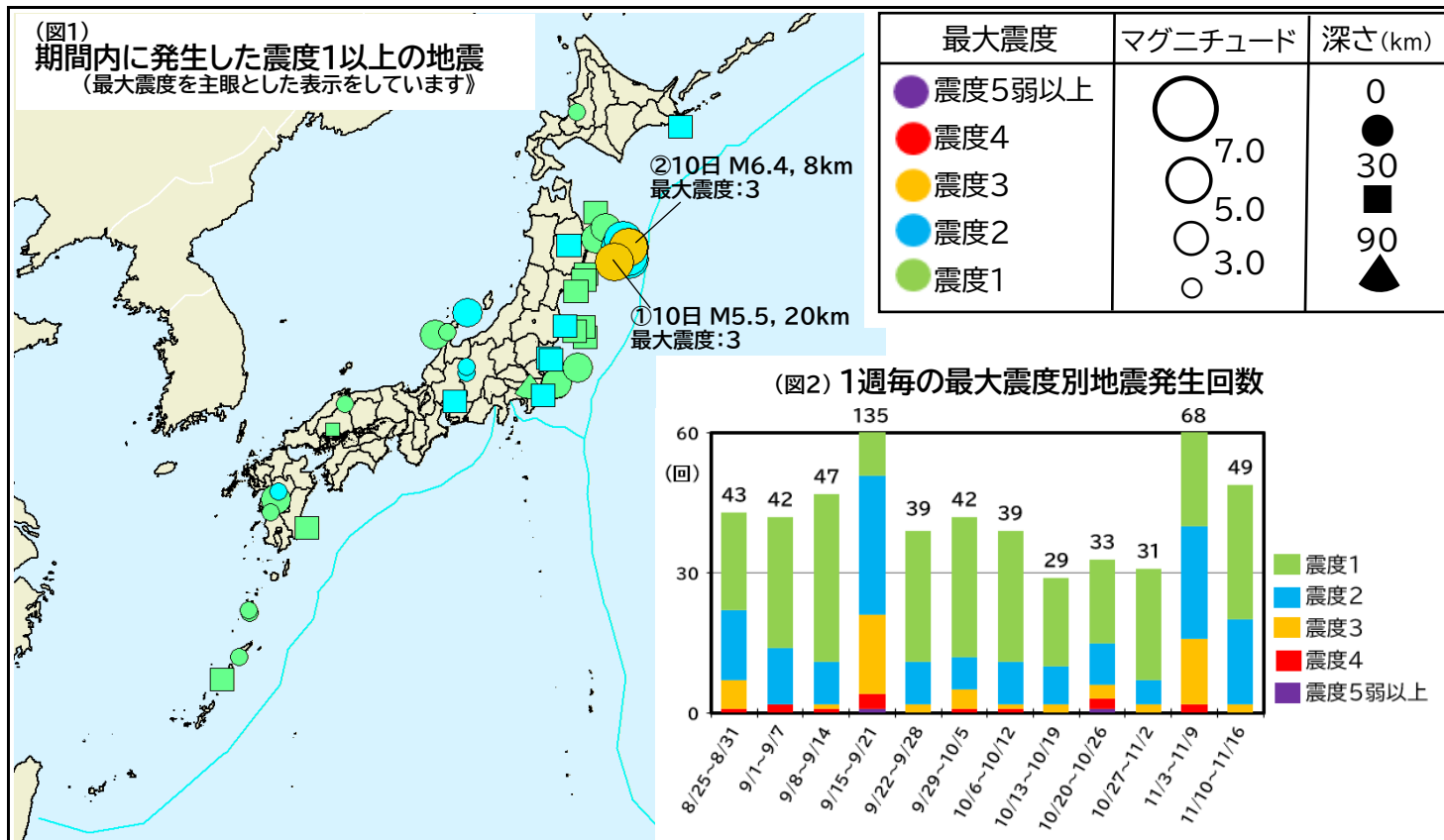


この期間の最大震度は3 三陸沖の地震は減少傾向

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

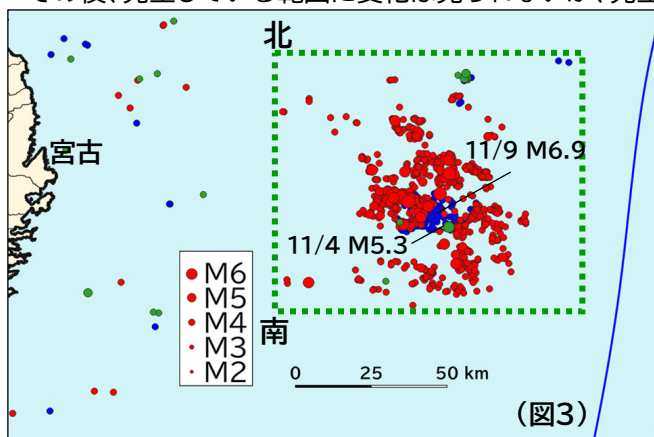
- この期間、震度1以上の地震が49回発生。最大震度は3。三陸沖の地震は減少傾向 ■
- ①11月10日12時00分に三陸沖で発生した地震(M5.5、20km)により、岩手県盛岡市、宮城県登米市で震度3を観測したほか、東北地方で震度2～1を観測(トピックス参照)。
- ②11月10日16時23分に三陸沖で発生した地震(M6.4、8km)により、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県で震度3を観測したほか、北海道から関東・甲信地方にかけての広い範囲で震度2～1を観測。

トピックス

- 三陸沖の地震活動 ～その後～ ■
- ・今月9日に三陸沖でM6.9の地震が発生し、岩手県と宮城県で最大震度4を観測。岩手県の久慈港と大船渡港で20センチの津波を観測しました。その後の地震活動には減少傾向が見られますが続いています。一連の地震活動を見てみます。表1は震度1以上を観測した地震の最大震度別の回数です。
- ・図3、図4に示したように、11月2日ごろから一連の活動範囲内(図3の緑破線内)の北側で体に感じない規模の地震が発生し、その後、南側で震度2(M5.3)の地震が発生した4日頃から活動がやや活発な活動となり、9日に最大震度4(M6.9)の地震が発生して更に活発化しました。
- ・9日の最大震度4(M6.9)発生後には、南北70～80km程度の範囲に地震が発生するようになりました(図4)。
- ・その後、発生している範囲に変化は見られないが、発生数は時間経過と共に次第に少なくなっています(図4)。

表1:最大震度別回数 三陸沖2025年11月1日～11月16日

	1	2	3	4	5弱	合計
回数	14	19	8	1	—	42



- ・この付近は、定期的に地震活動が活発な地域で、M7クラスの地震も度々発生しています。
- ・また、活動が長引くこともあるので、しばらくの間は、海岸付近で揺れを感じたら津波発生を想定して、速やかに海岸から離れるよう注意して頂きたいと思います。

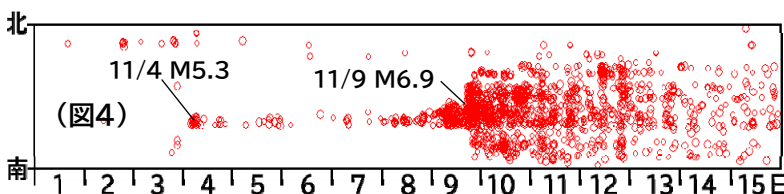


図3:震央分布図 2025/11/1---2025/11/15 M≥2.0

●11/1～11/4 04:16のM5.3 震度2まで
●～11/9 17:03のM6.9 震度4まで
●～11/15まで

図4:図3の緑破線内の時空間分布図
縦軸:緯度 横軸:時間(日)